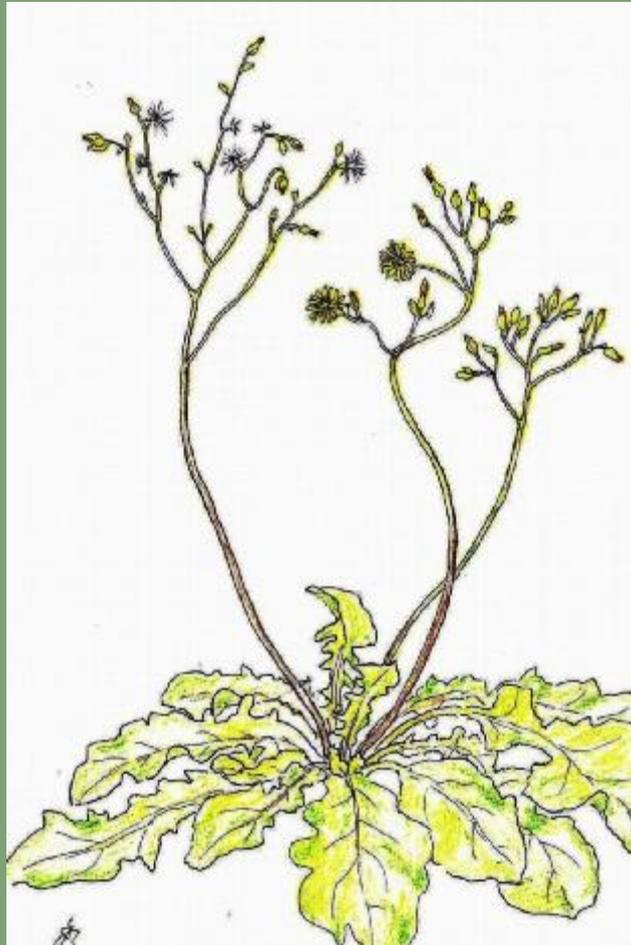


見沼たんぼ・野草スケッチ「ヤブタビラコ」 藪田平子

科名：キク科ヤブタビラコ属

花言葉：「仲間と一緒に 純愛 想い」



2011. 10. 18 晴れととき曇り 芝川 桜橋近くの休耕田にて

この野草は、5～7月頃が花期だが、これを採集したのは、10月も半ばでした。その後、条件のよいところでは結11月でも見かけることがあります。葉っぱは地面にべったりロゼット状に広げてその中ほどから頼りない茎をひよろひよろと伸ばして小さな菊に似た黄色い花を咲かせています。



「ヤブタピラコ」

原産地：	東アジア
生育地：	本州以西から済州島・中国 越年草 田や湿性の高い場所、半日陰になる疎林内
茎 丈：	20 cmほど、時に40 cm
葉：	1～3枚の葉（ロゼット状） 幅3 cm、長さ15 cmほどになり、羽状に深裂
花期：	5～7月頃
花・花色：	径8 mmほどの黄色い小さな花 舌状花15～20個
種子：果実	長さ約2.5mm
特徴：	春の七草のひとつ「仏の座」は、通常仲間（同属）のコオニタピラコを指すとされています。
名前の由来：	田面に張り付くように放射状に根生葉を広げる様子を現した
記述はヤブタピラコ(藪田平子)のサイトより、17.12.5	